

令和8年度

藍住西小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な内容の確実な習得をめざす授業の実践 ○言語活動の充実を図り、考える力を身につけさせる授業の実践

校長

学力向上推進員

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<ul style="list-style-type: none"> ○与えられた課題に真面目に取り組むことができる児童が多い。 ●文章を読み取ったり、応用問題で既習事項を活用することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができる。(単元テスト知識・技能領域80%) ・文章から必要な情報を取捨選択したり、学習して得た知識・技能を他場面で活用したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や学年タイムを活用し、反復練習と復習を行い、単元テストを実施する。知識・技能分野の習得率を確認し復習に活かす。 ・音読の宿題や週末読書を継続的にを行い、語彙力を向上させる。 ・タブレットやプリント等で応用問題を活用する。 			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<ul style="list-style-type: none"> ○自分の意見や考えを発表することができる児童が多い。 ●聞き手に正確に伝わるように自分の考えを表現することや他者の意見を比較したり関連付けたりして自分の考えを広げる・再構築することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手や目的を意識し、相手に伝わるよう言葉を選んで表現することができる。 ・友達の意見を最後まで聞くことができる。友達の意見を参考に、自分の考えを深めたり、新たな視点を見つけたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書き表す活動の時間を設定し、自分の意見や考えを持たせ、表現しやすくする。 ・自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりする経験を増やすために、必要に応じてペア学習、グループ学習を効果的に設定し、成功体験を積ませる。 ・多様な考え方を引き出す発問について工夫する。 			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<ul style="list-style-type: none"> ○素直な児童が多く、意欲的に学習に取り組むことができる。 ●自分から進んで課題を見つけて取り組んだり、見通しを立てたりすることは苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶことが楽しいと感じ、意欲的に学習に取り組むことができる。 ・家庭学習や自主学習に主体的に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SWPBS(学校全体での肯定的な行動支援)を取り入れ、認め・励ます指導をする。 ・「藍住町小学校学びの手引き」にあるノート指導を徹底する。 ・「家庭学習の手引き」や「自主学習の手引き」等をもとに、家庭との連携を図る。 			